

単元名：残したいもの 伝えたいもの

「単元を貫く学習問題を作ろう」

(全 10 時間扱い中 第 1 時)

授業日時 2021 年 11 月 10 日 (水) 第 4 校時

授業学級 4 年東組

授業会場 4 年東組教室

授 業 者

指 導 者

(1) 主眼 (授業の手立て & ねらい)

(○○の子ども達が) ○○の場で、○○を通して、○○を□□することができる／できるようになる。

単元を貫く学習問題について考える場面で、長野県の伝統・文化についてどのような視点からどのような内容を調べていくのかを考えることを通して、単元を貫く学習問題をつくることができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導入	1. 長野県で古くから残っているものについて話し合う	「駅から学校までの距離」 「長野県にあるコンビニの数」 「丸太の重さ」 「祭りに参加している人数」 「松本城」 「松本ぼんぼん」 「善光寺」 「旧開智学校」	「この数字なんだろう？（1200 を提示）」 ※御柱祭の写真（現在）を提示する 「この写真とこの数字実は関係してるんだけどなんだろう？」 ※写真と数字の関係について説明した後、御柱祭の昔の絵を提示し、行事の歴史の部分に着目させる 「今説明した御柱祭以外にも長野県には古くから残る建物や行事が沢山あるよね」 ※この部分で出た意見は板書はしない	5
	2. 本時の学習問題を提示する		「長野県の古くから残るものについて調べるとい目標だと範囲が広すぎて何を調べればいいのかわからなくなっちゃうよね。なので長野県に古く残るものについてどんなことを調べていくのか決めていこうと思います。」	5
	<div>【学習問題】長野県に古くから残るものについてどのようなことを調べていくのか決めよう</div>			
<div>【学習課題】単元を貫く学習問題を作るには、どのような内容を調べていくのかを考えればよさそうだ。</div>				

展開	3. 長野県の伝統や文化について意見を出し合う	「歴史的な建物はなんでこんなに多く残っているのだろう」 「古くから残るものはどうして現在まで残っているんだろうね？」	「長野県に古くから残っているもののどんなことについて調べていきたい？」 ※古くから残っているものに対する疑問・問いについて考えて Jamboard に書く 【Jamboard】 ※クロームブックで調べるのは禁止 →まずは自分で考える(友達のシートを見るのは OK)	15
	4. 学習問題を作る	「どうやって祭りを受け継いできたのか」 「どうして古くからあるものを残すのか」	「他の人のも見えてみて、どんな問いがあったかな？」 ※他の人の問いを見てどんな問いがあったのか共有し、教師がある程度同じ視点の問いごとに板書する →分けて板書した問いごとにキーワードを見つける ※最後学習問題を作るときは教師がまとめ、提示する	15
<div>【本時の評価（評価する対象）】</div> <div>長野県に古くから残るものについてどのような視点から、どのような内容について調べるのかを考え、単元を貫く学習問題をつくることのできる（Jamboard）（発言・態度）</div>				
終末	5. 振り返りをする	「決めた学習問題をもとに長野県の伝統や文化について知りたいと思った」	「学習問題を作って思ったことや考えたことを Jamboard の空いてるスペースに書いてください」【Jamboard】 ※問いについて考えた Jamboard の空いてる部分	5